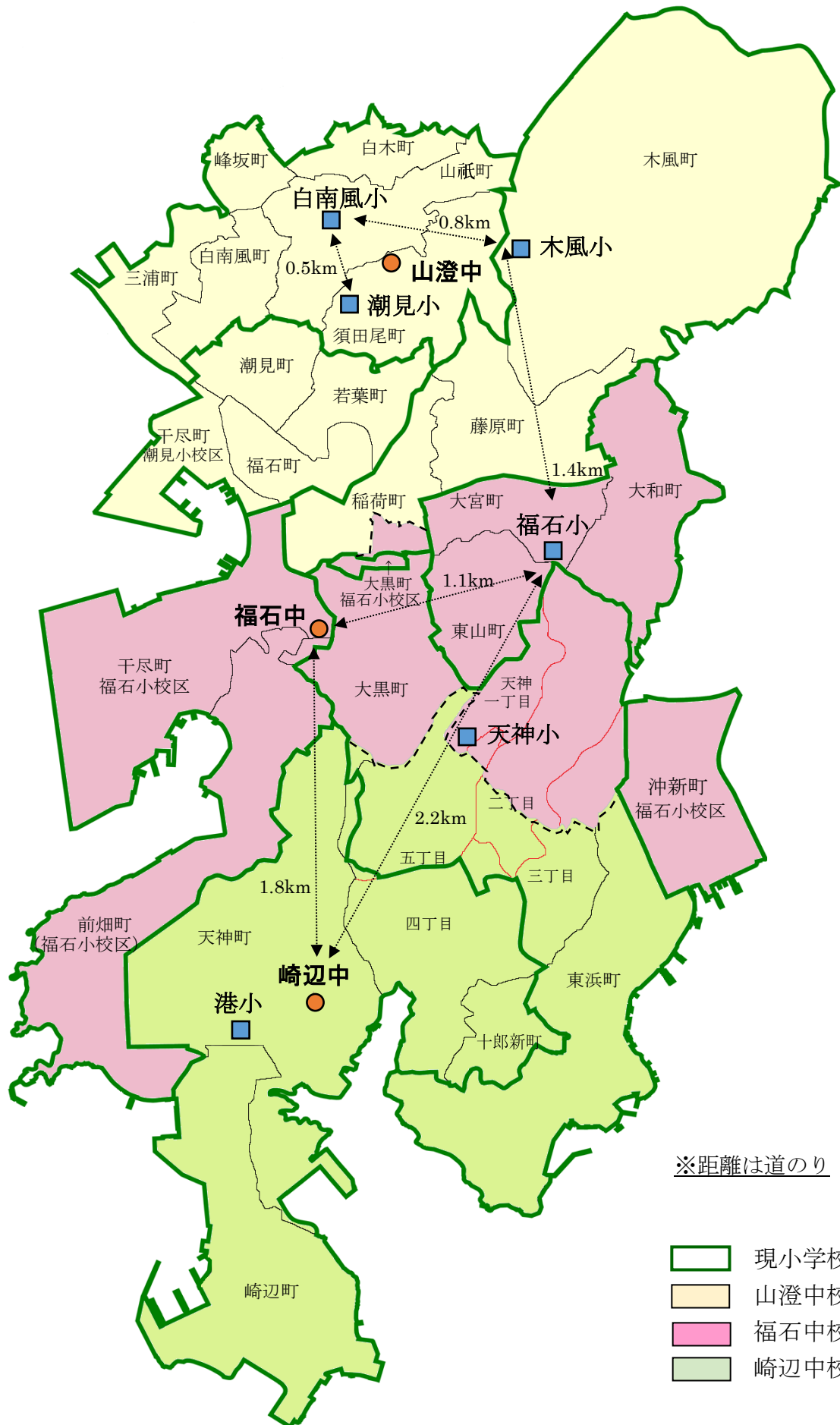
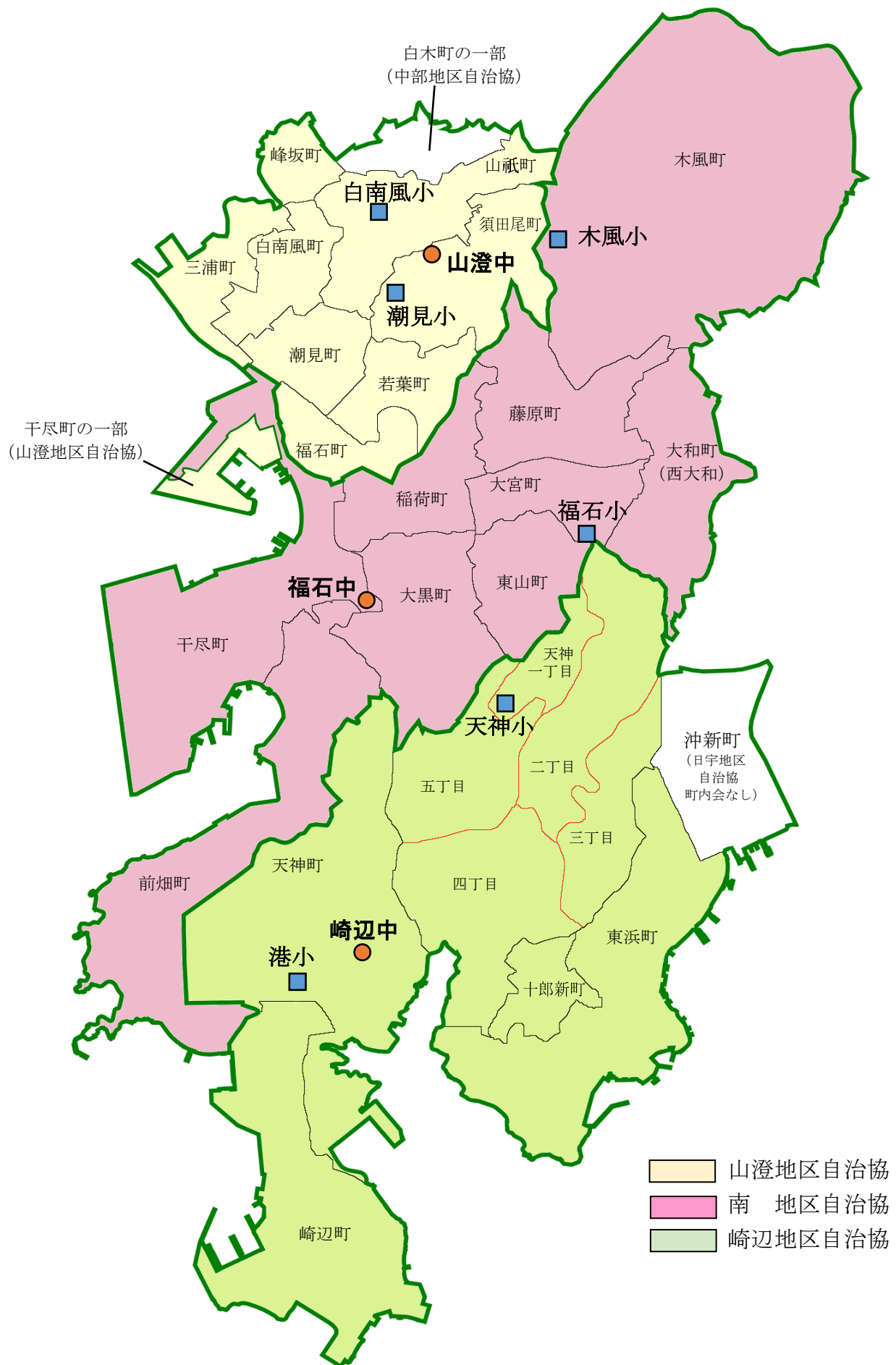


令和 3 年度
「新しい学校推進 意見交換会」資料

【山澄中学校区】【福石中学校区】【崎辺中学校区】

佐世保市教育委員会
新しい学校推進室





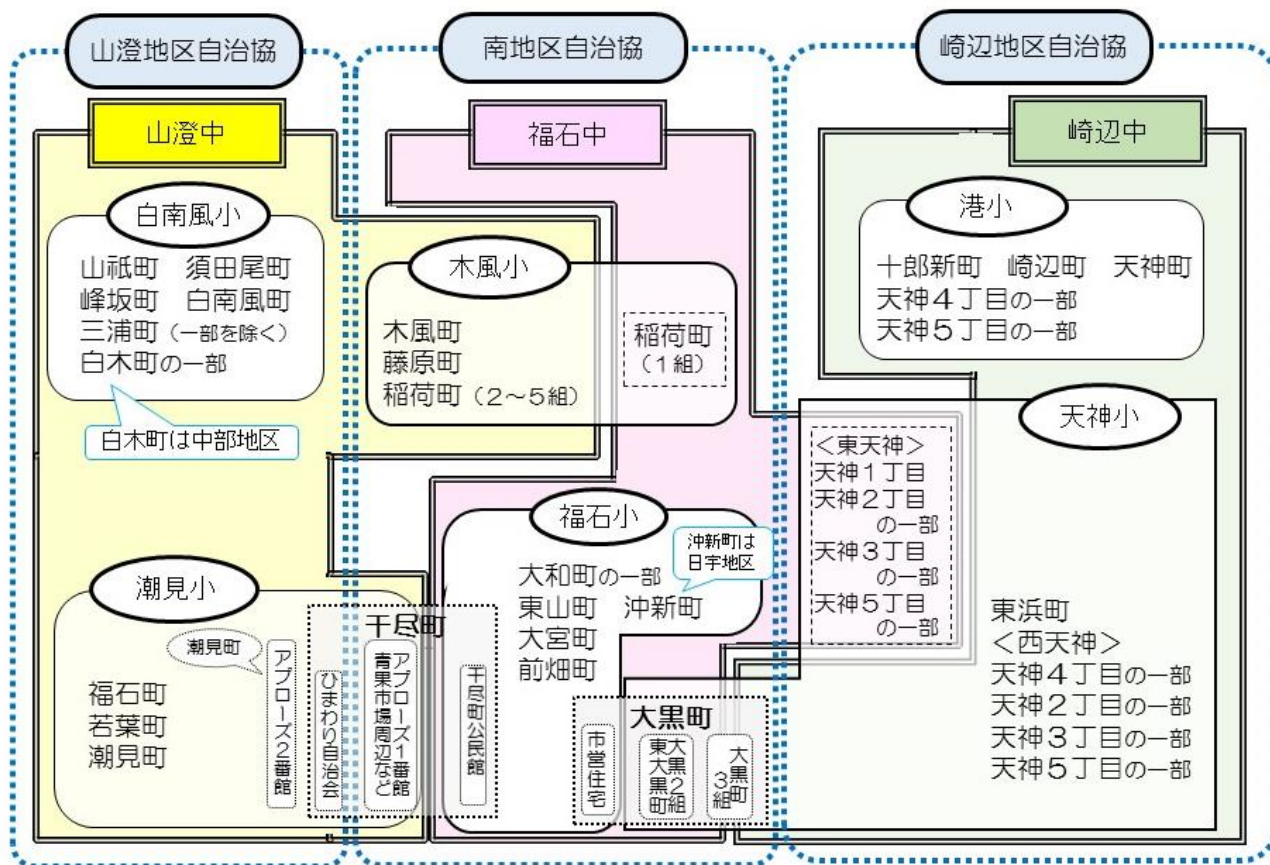
①現状（令和元年5月1日現在）

中学校	山澄中	福石中	崎辺中
生徒数	311 名	208 名	224 名
学級数(特支含)	9(12)学級	7(10)学級	7(9)学級
建築年数	50 年	57 年	37 年
校舎延床面積	5,583 m ²	4,025 m ²	5,333 m ²
運動場面積	約 7,700 m ²	約 12,300 m ²	約 11,400 m ²
敷地面積	約 20,700 m ²	約 29,300 m ²	約 24,300 m ²
自治協区域	山澄 木風町、藤原町、稲荷町 千尽町は南地区	南 東天神は 崎辺地区	崎辺 大黒町の 一部は南地区

小学校	白南風小	潮見小	木風小	福石小	天神小	港小
児童数	279 名	176 名	233 名	304 名	350 名	316 名
学級数(特支含)	11(15)学級	7(9)学級	8(12)学級	12(15)学級	12(14)学級	12(14)学級
建築年数	54 年	62 年	59 年	61 年	53 年	46 年
校舎延床面積	3,971 m ²	2,965 m ²	3,919 m ²	3,439 m ²	5,422 m ²	5,909 m ²
運動場面積	約 5,100 m ²	約 5,100 m ²	約 5,700 m ²	約 3,000 m ²	約 5,800 m ²	約 6,800 m ²
敷地面積	約 15,600 m ²	約 7,300 m ²	約 14,300 m ²	約 9,500 m ²	約 14,400 m ²	約 17,100 m ²
自治協区域	山澄 峰坂町・白木町の 一部は中部地区	山澄 千尽町の 一部は南地区	南	南	崎辺 大黒町の 一部は南地区	崎辺

②「再編しない場合」と「再編した場合（市教委事務局案）」の児童生徒数の推計

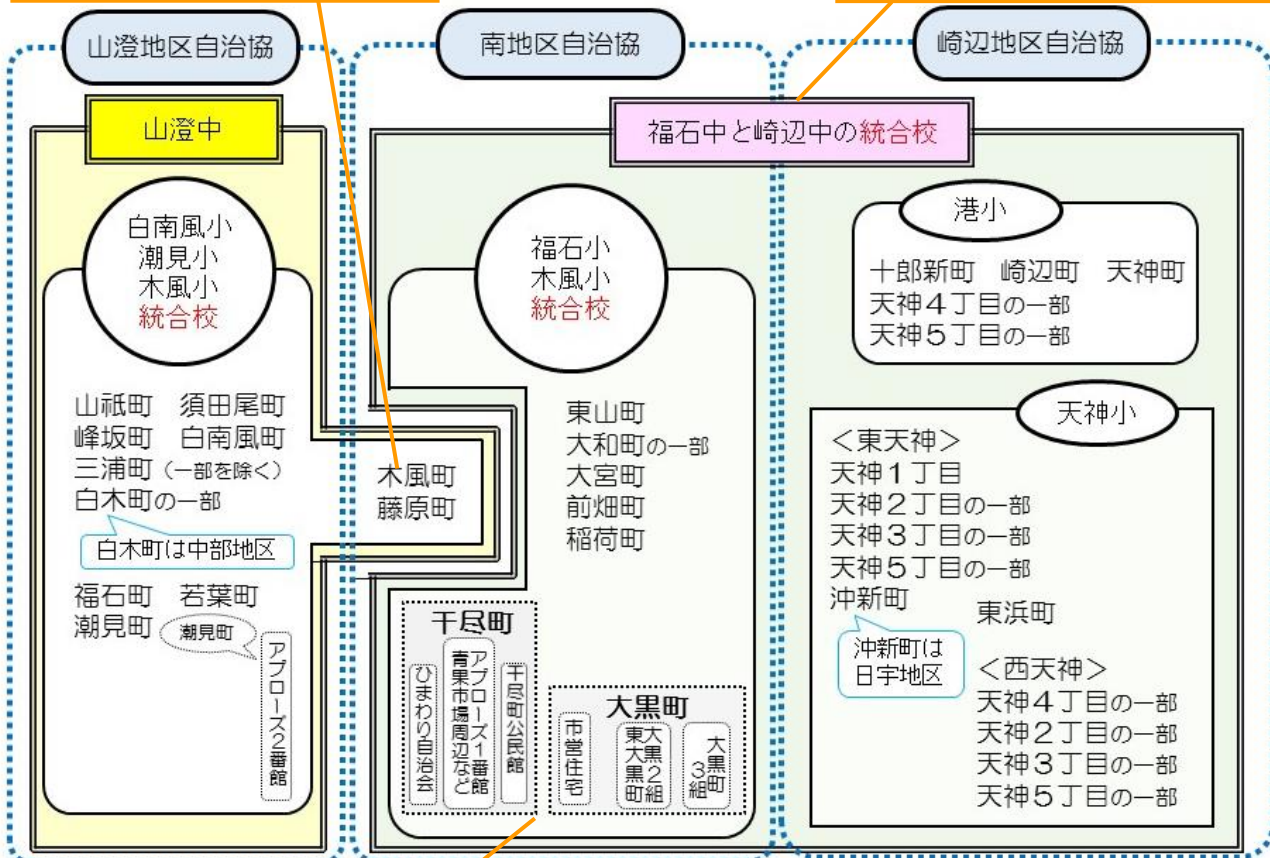
再編しない場合			再編した場合		
学校名	令和元年 (5月1日現在)	20年後 (2040年推計値)	学校名 (通学区域変更地区)	令和元年 (5月1日現在)	20年後 (2040年推計値)
山澄中	311名	約210名	山澄中 (一干尽町・一稲荷町)	285名	約190名
福石中	208名	約140名	福石・崎辺 統合中 (十干尽町・十稲荷町)	458名	約320名
崎辺中	224名	約160名			
白南風小	279名	約230名	白南風・潮見・ 木風(木風町・藤原町) 統合小	660名	約480名
潮見小	176名	約120名			
木風小	233名	約160名	福石・木風(稲荷町) 統合小 (十大黒町・十干尽町の一部)	409名	約280名
福石小	304名	約210名			
天神小	350名	約210名	天神小 (一大黒町十沖新町)	273名	約170名
港 小	316名	約270名	港 小	316名	約270名
合 計	2401名	約1710名	合 計	2401名	約1710名



【協議の視点②】4つの小学校を2校に統合する際、木風小学校の通学区域を2校に分けることについて。

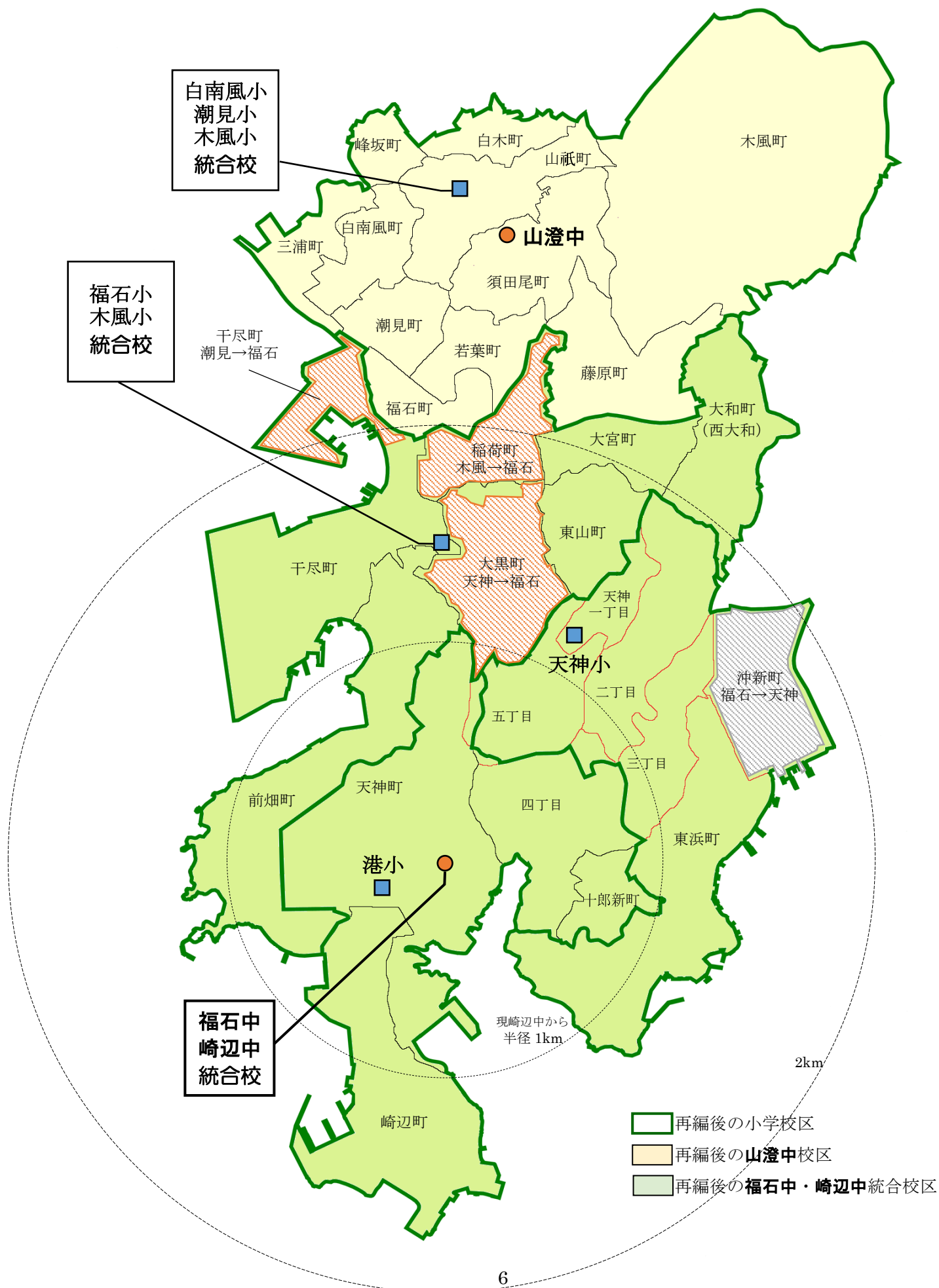
再編後

【協議の視点①】小学校4校を2校に統合、福石中と崎辺中を統合という再編の方向性について。統合した場合、2つの地区自治協区域に1つの中学校となります。



【協議の視点③】千尽町、大黒町、沖新町などの通学区域の変更について

目的	☆予測される潮見小・白南風小・木風小・福石小・福石中・崎辺中の小規模化の緩和 ☆潮見小が校区の外に立地している状況の解消 ☆潮見小・白南風小・木風小・福石小・福石中の施設老朽化問題の解消		
再編案	① <u>福石中を崎辺中へ統合します。(統合後の場所は崎辺中)</u> ② <u>木風小（稲荷町）と福石小を統合し、福石中跡地に校舎を整備します。</u> ・潮見小校区の干尽町を「木風・福石統合小」へ通学区域の変更をします。 ・天神小校区の大黒町（東大黒、2組、3組）を「木風・福石統合小」へ通学区域の変更をします。 ・福石小校区の沖新町を、天神小へ通学区域の変更をします。 ・山澄中の稲荷町、干尽町を「福石・崎辺統合同中」へ通学区域の変更をします。 ③ <u>②と同時期に木風小（木風町・藤原町）と白南風小を統合し、白南風小の敷地に校舎を整備します。(建築中、白南風小の児童は、木風小へ通学する形を想定しています。)</u> ④ <u>白南風小の敷地に校舎が完成後、「白南風・木風 統合小」と潮見小を統合し、最終的には白南風小・木風小（木風町・藤原町）・潮見小の統合となります。</u> ◎ <u>港小は現状のままです。</u> ◎ <u>天神小は通学区域（大黒町・沖新町）の変更のみとなります。</u> ◎ <u>山澄中は通学区域（稲荷町・干尽町）の変更のみとなります。</u>		
期待できる教育効果	学校規模	○「白南風・潮見・木風の統合小」、及び「福石・木風の統合小」は、クラス替え等が可能な望ましい学校規模となります。 ○崎辺中と福石中の小規模化が緩和されることで、各教科への複数名の教員配置や部活動の選択肢の増加が期待できます。	
	施設	○老朽化が進む学校を再編・整備することで、安全できれいな学校に通うことができます。	
	地域	○白南風小との統合によって、学校（潮見小）が校区外にある状態が解消されます。 ○稲荷町の多くの児童が、距離が近い福石小へ通学できるようになります。 ○干尽町や大黒町では、同じ町内で、二つの校区に分かれていた状況が解消され、町内全ての児童生徒が同じ学校へ通うことができます。（校区と自治協議会区域も一致へ） ○天神小の児童が、一つの同じ中学校へ進学できます。	
留意点	○通学距離が長くなる児童生徒が出てくる可能性があります。 ○福石・崎辺統合同中の校区は、南地区及び崎辺地区自治協議会区域にまたがることになります。 ○複数の地区にまたがり、校舎の整備等を伴う、大規模な再編となるため、段階的に計画を進めることとなり、時間を要します。 ○統合により、崎辺中学校の余裕教室が不足する場合は、増築等を検討いたします。		



- ① 再編の方向性：学校小規模化や老朽化対策のため、「福石中と崎辺中の統合」、「白南風小、潮見小、木風小、福石小を2校に統合」することについて。

【参考】

- ・崎辺中の敷地に統合を提案する理由は、建築年数が福石中より比較的新しいためです。ただし、統合した場合、2つの地区自治協区域に1つの中学校となります。
- ・白南風小の敷地に統合を提案する理由は、潮見小より敷地が広いためです。また、木風小の敷地は南地区自治協議会区域となるためです。
- ・福石小の移設を提案する理由は、現在の敷地では狭く、校区を広げるといった対応が難しいためです。また、別の場所に建築することで工事中の児童の負担を減らすためです。
- ・港小を現状維持とする理由は、児童数の減少が緩やかと予想されるためです。
- ・天神小も将来的には児童数減少が予想されますが、現時点での再編計画では、通学区域の変更のみの提案としています。
- ・山澄中も将来的には児童数減少が予想されます。しかし、福石中・崎辺中に比べて規模が維持される見込みですので、現時点では通学区域の変更のみの提案としています。

- ② ①の小学校4校を2校に統合する際、木風小学校の通学区域を2校に分けることについて。(木風町・藤原町・稲荷町・干尽町)

【参考】

福石側校区へ変更する町	A案：木風町・藤原町・稲荷町すべて	B案：藤原町・稲荷町のみ	C案：稲荷町のみ (※教育委員会事務局案)
〔児童生徒数〕 白南風・潮見・木風統合小	R元年度 → R22年度 444名 → 約340名	R元年度 → R22年度 558名 → 約420名	R元年度 → R22年度 660名 → 約480名
福石・木風統合小	625名 → 約420名	511名 → 約340名	409名 → 約280名
山澄中	184名 → 約130名	251名 → 約160名	285名 → 約190名
福石・崎辺統合中	559名 → 約380名	492名 → 約350名	458名 → 約320名
メリット	・小学校と「福石+崎辺統合中」の学校規模改善 ・校区と地区自治協議会の区域が一致します。	・小学校と「福石+崎辺統合中」の学校規模改善 ・木風町を除き、校区と地区自治協議会の区域が一致します。	・小学校と「福石+崎辺統合中」の学校規模改善 ・木風町と藤原町を除き、校区と地区自治協議会の区域が一致します。
デメリット	・現在の山澄中より生徒数が減少します。 ・木風町、藤原町の一部、稲荷町北部などの通学距離が長くなります。	・現在の山澄中より生徒数が減少します。 ・藤原町の一部、稲荷町の北部などの通学距離が長くなります。 ・木風町は、校区と地区自治協議会の区域が一致しません。	・稲荷町北部の通学距離が長くなります。 ・木風町と藤原町は、校区と地区自治協議会の区域が一致しません。

- ③ 「通学距離」や「町境・地区自治協議会の区域」等を踏まえた通学区域の変更について。(干尽町・大黒町・沖新町)

【参考】

- ・干尽町を福石側校区に変更するのは、南地区自治協議会の区域と一致させる目的です。ただし、現状は山澄地区の潮見小や山澄中へ通学している状況です。
- ・大黒町は南地区自治協区域であり、かつ「福石・木風統合小」に近いと考え、天神小校区から変更するものです。ただし、町内南部の方は、天神小の方が近い地域もあります。
- ・沖新町は、法令（佐世保市地域コミュニティ活性化推進条例施行規則）上、日宇地区自治協区域ですが、現在、自治会がなく児童生徒の在籍もありません。校区としては、福石小学校区の中で、飛び地となっています。天神小校区に隣接しているため、この再編を機会に、天神小校区に変更するものです。